

ゼロベース検討の総括と市の方針報告

1 中核病院協議会での検討状況

市内の医療関係者と市民代表の皆様で構成する中核病院協議会を7月に設置し、4回の会議で検討、協議を重ねられ、10月28日に結果についてご報告をいただいた。

■第1回目

- 日 時 令和3年7月16日（金） 19時～21時30分
場 所 萩市総合福祉センター 多目的ホール
協議事項 ○ゼロベース検討の考え方について
○設置要綱について
○将来（2025年）に向けた急性期・回復期病院の方針確認
○萩医療圏において公的、中核的病院が担うべき医療
○萩医療圏における医療機能の再編等のパターン検討

■第2回目

- 日 時 令和3年8月27日（金） 19時～20時45分
場 所 萩市総合福祉センター 多目的ホール
協議事項 ○萩医療圏における医療機能再編等について
・第1回目協議会の概要
・萩医療圏における医療機能再編等のパターン
（イニシャルコストの概算、財政支援）

■第3回目

- 日 時 令和3年10月7日（木） 19時～20時35分
場 所 萩市総合福祉センター 多目的ホール
協議事項 ○萩医療圏における医療機能再編等について
・第1回目、2回目中核病院協議会のまとめ
・2病院統合後の市の財政負担の見込み等について
～ランニングコストについて～
（運営費に係る市の財政負担見込み、統合後の病院収支見込み）

■第4回目

- 日 時 令和3年10月26日（火） 19時～19時40分
場 所 萩市総合福祉センター 多目的ホール
協議事項 ○中核病院協議会報告書（案）について

2 中核病院協議会の報告結果

(※令和3年11月30日萩市議会12月定例会 市長報告事項から抜粋)

- 財政面や医師確保に関する不安や、中核病院そのものに対する反対の意見もあったが、人口が減少しても地域に必要な医療は守るべきであり、地域の拠点としての役割を担う中核病院は必要との意見が大多数であった。
- 中核病院を形成する手法としては、萩市民病院と都志見病院が統合し、一定の規模や機能を有した中核病院を形成する手法以外の具体的な提案はなかった。
- 財政負担に関しては、今後、専門家を交えた別の場合や市議会ですっかりと議論をお願いしたいこと、加えて、協議会における委員の意見を踏まえ、市としての方針を速やかに決定し、中核病院の形成に向けた議論を進めるとともに、持続可能な医療体制の構築に、行政、市議会、関係機関、市民が一体となって取り組まれるよう努めてもらいたい。

3 今後の市の方針

(※令和3年11月30日萩市議会12月定例会 市長報告事項から抜粋)

この報告を受け、内部での検討や関係機関との調整を進めてきた結果、将来にわたり、市民の皆様が萩市において安心して暮らせる医療を提供できるよう、市の方針として「萩市民病院と都志見病院の統合による中核病院の形成に向けて検討を進めていく」ということを、ここにご報告させていただきます。

この協議会での議論や医師会等の関係者との協議を通して、私自身、地域医療の現状と課題、中核病院について理解を深めることができました。一方、この間、中核病院形成に関する具体的な検討が中断したことにより、不安を感じられた市民や関係者の皆様には申し訳なく思っているところであります。

今回、お示しした方針は「2病院の統合による中核病院の形成に向けた検討を進めていく」というものであり、「統合そのものを決定する」ものではありません。「統合の決定」に至るには、様々な取決めや、条件面での合意等を行う必要があります。

前市長のもと、中核病院形成検討委員会で検討、協議を重ねられ、確認された事項などは十分に尊重し、今後、両病院間での具体的な協議と併せて、医師会など関係機関と連携しながら検討を進めてまいります。

また、検討状況については、引き続き、市議会をはじめ市民の皆様にも丁寧にご説明し、中核病院づくりに向けてしっかりと取り組んでまいります。